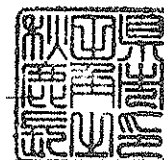


19鹿都（管）収第13号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

秋田県 鹿角市長 児 玉



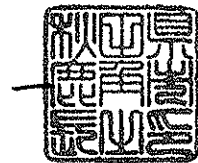
中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

平成19年4月2日付、国道企第114号にて依頼のあった標記の件について、
別紙のとおり提出いたします。

中 期 的 な 計 画 の 作 成 に あ た り

【秋田県鹿角市】

秋田県 鹿角市長 児 玉



はじめに ～鹿角市における道路交通の現状と課題～

【現状】

道路網は、東北縦貫自動車道が南北に縦貫し、2つのインターチェンジ（十和田IC・鹿角八幡平IC）が設置されています。これと並行して国道282号が中心地を縦貫し、東西に走る国道103号とともに主軸となっており、これと縦軸に国道341号や県道が放射状に走る網体系となっています。

道路整備に係わる市道の状況は、改良率52.3%、舗装率57.3%（H19.4.1現在）と県内でも極めて低く、また、国・県道の整備水準は、改良率では県平均を上回ってはいるものの、広大な面積を有するため、その道路延長密度は低くなっています。

自動車交通の現状は、北東北3県の中心という要所と相まって、広域化、活発化しており、自動車交通量調査における平日の24時間交通量をみると、国道282号の花輪地区が最も多く、混雑度が高くなっています。その要因は迂回路が無いことが起因しています。

冬期交通不能区間は、国道341号に代表されるように、当市八幡平地区のような特別豪雪地帯となっている地域において、冬期の行動圏が制約されています。

広域交流については、高速道路で盛岡市へ60分超をはじめ、高速交通施設へのアクセスには恵まれているものの、秋田市との所要時間は150分となっており、また、隣県青森県境部分は北奥羽山脈の山岳地形の制限を受けた迂回上の線形となっており、広域交通圏の確保は不十分であるといえます。

【課題】

①生活基盤・環境の改善に資する道路交通の整備推進

狭い道路や危険箇所の整備を進め、地域間の交通を円滑にして、渋滞のない都市交通の実現を図るため、交差点の改良やバイパス整備を進める必要があります。また、地域を一体化する道路、中心部交通の円滑化を図る道路整備（20分行動圏）が急務であると考えております。

②利用者が安全・安心・快適に利用できる道路整備の推進

幅の広い歩道や歩道段差の解消、災害時の代替路整備等、また、冬期間の安全な通行を確保して、誰もが安心して移動できるみちづくりを進める必要があります。

③地域の発展と広域的な交流・連携を高める道路ネットワークの形成

都市間相互を結ぶ幹線道の重点整備をすすめ、寸断されている道路の整備を促進し、地域間の交流を活発にする道路ネットワークの形成が急務です。

～ 中期的な計画の作成にあたっての意見 ～

上記における鹿角市の現状と課題から以下について回答いたします。

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- (1) 生活基盤・環境の改善に資する道路の整備改良促進
- (2) 道路利用者が安全かつ快適に利用できる道路整備政策
- (3) 地域活性化及び広域的な
交流・連携を高める道路ネットワークの形成

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- (1) 道路の建設費及び管理費の弾力的運用
- (2) 道路利用者の考えや意見が反映されるような取組

【概要】

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 生活基盤・環境の改善に資する道路の整備改良促進

渋滞対策、狭隘・通行危険箇所の改善により、道路本来の機能を最大限発揮し、通勤・通院等の住民の日常生活に寄与する政策こそ重要であると考えております。

(2) 道路利用者が安全かつ快適に利用できる道路整備政策

利用者最優先の道路整備を実施し、理解と共感を得て道路整備を推進することが重要政策であると考えております。

- ① 交通事故対策（歩道の設置等歩行者の安全性の確保）
- ② 冬期間の安全な走行と雪の制限を受けない通行の確保

(3) 地域活性化及び広域的な交流・連携を高める道路ネットワークの形成

秋田県における都市間距離は全国平均の1.5倍であり、当市においてもその例外ではありません。このことは地域格差が生じる要因であり、広域的な交流・物流・連携は、地方の自立に欠かせない要素であることから、基幹線道路の整備の充実が地方における重要政策であると考えております。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

(1) 道路の建設費及び管理費の弾力的運用

道路の建設費及び管理費における予算執行については、相方間における柔軟な費用の流用等により、真に必要な整備事業を早期に推進できるものと考えております。

(2) 道路利用者の考えや意見が反映されるような取組

費用対効果等の数値的評価以外の要素である民意を反映し、それに沿った必要な事業を行うことにより、効率的な事業推進を図ることができると考えております。

【具体的事業要望】

鹿角市における重点化を進める上での優先政策を勘案した具体的事業

1. 国道 282 号花輪市街地の混雑緩和対策

【道路利用者が安全かつ快適に利用できる道路整備政策】

【生活基盤・環境の改善に資する道路の整備改良促進】

当市花輪地区は経済・教育・医療関係機関が集積しており、市街地の国道 282 号の朝・夕の時間帯は慢性的な交通混雑・渋滞が発生し、市民生活に支障をきたしています。

また、冬期間中は吹雪等によって高速道路が閉鎖された際、大型トラックの大量流入により、交通が麻痺し、市民の日常生活に支障が出ています。

一年のうち半年弱を雪の影響を受ける当市においては、冬期間の道路交通事情の改善は市民の切なる要望であります。



2. 国道 341 号玉川温泉郷地域冬期交通の実現と整備改良の推進

【道路利用者が安全かつ快適に利用できる道路整備政策】

【生活基盤・環境の改善に資する道路の整備改良促進】

国道 341 号は鹿角市と仙北市田沢湖・角館地域を結ぶ産業経済及び観光ルートとして重要な位置付けとなっており、冬期交通確保により、北東北 3 県の経済交流圏と広域観光を形成することが出来ます。

また、八幡平谷内バイパス以南の狹隘箇所、通行危険箇所の整備は当市のみならず、道路利用者からも強く要望されている路線です。



3. 青森県田子町～鹿角市十和田大湯間のバイパスルート建設

【地域活性化及び広域的な交流・連携を高める道路ネットワークの形成】

迂回上の国道103号～104号は、交通難所となっており、地域間の交流の大きな妨げになっています。この路線を一部トンネル化を含むバイパス形式にすることにより、以下の効果が発揮できるものと確信しております。

【整備効果】

①地域産業の活性化

八戸港～能代港の海運と陸運を交えた北東北の新たな物流網形成と地方自立にむけた経済波及効果。

②広域ネットワークの充実・地域連携体制の強化

高速道路網を補完し、各拠点都市とアクセス道路として、県境を越えた地域連絡体制の構築。

③緊急医療体制の確立

青森県田子町から県境を越えた医療ネットワークの強化。

④安全性確保

現道の狭隘区間を解消し通行の円滑化。

⑤時間距離の短縮

田子町田子地区～鹿角市十和田IC間所要時間が66分→46分となり、大幅な時間短縮。

⑥冬期間の安全・円滑な走行

交通難所の同区間に於いて、特に雪道における通行確保。

⑦観光周遊路線の充実

八戸～十和田湖～白神山地へと繋がる観光周遊路線が充実し、観光産業の活性化。

